

夏休みが終わって二学期が始まり・・・

小学校の2学期が始まり、一週間で過ぎました。夏休み中には、児童クラブでの「密」を避けるために、利用日数を減らすなどの自粛にご協力をいただき大変ありがとうございました。当所の予想とは違い、新型コロナウイルスへの感染者が一向に減らない中



ですが、おかげさまで、児童クラブも何とか無事に夏休みを乗り切ることができました。

学校でも感染防止対策が徹底されていることと思いますが、児童クラブにおいても、今後も新型コロナウイルスへの感染防止対策を徹底していきたいと思っております。また、学校が始まったばかりなので、子どもたちの心身の状況にも留意していきたいと思っております。お子様の様子で何か心配なことがございましたらいつでもご相談ください。



来年度の入会継続や兄弟関係に関する調査について

毎年お願いしている調査ではありますが、今年度はやや早めをお願いすることとなりました。というのも、来年度は、入会を継続する方の数によっては、部屋の収容人数の関係から、一般募集をしない可能性も出てくるからです。

調査へのご回答は、あくまでも現時点でのものとはなりますが、以下の「参考事項」もご確認いただき、慎重にご検討いただけるとありがたいです。何かご不明な点がありましたら、ぜひご相談ください。

調査の提出締め切り日は、9月15日(火)となっています。期限厳守でお願いいたします。

【参考事項】

- ①「産休・育休を取得」など、特別な理由がないままの休会は、一ヶ月が限度となります。また、休会の際には、「休会願」が必要です。
- ②両親の「就労証明書」の提出が長期間なされない場合は、退会扱いになります。提出を猶予できる期間については、ご相談ください。
- ①たとえば、一ヶ月あたりの利用回数が少なくなる場合には、退会していたら、「臨時利用」を活用することも可能です。(臨時利用は、半日利用で、1150円になります。)
- ④既に前号でお知らせしましたが、来年度から、延長保育料は200円に値下げしますが、土曜日午前中分の保育料は、600円に値上げさせていただきます。午前中から開所した場合にも、この金額が適用されます。

夏休み中の利用日数を削減分の返金について

夏休み中に、児童クラブからの自粛依頼により利用日数を削減していただいた分の返金を以下のとおり行いますので、よろしく願いいたします。

対象者：令和2年8月1日以前に利用日数を減らしていただいた方

※こちらからお声をかけさせていただきます。

返金期間：9月7日(月)～18日(金)

その他：印鑑を必ずご持参ください。児童のお迎え時に返金できます。

「明和児童クラブのホームページ」を改良中です。

現在、明和児童クラブのホームページの改良作業を行っています。改良作業が終わると、今までのページに加え、毎年冊子でお配りしている「経営方針」や「入会案内」が掲載されたり、「明和児童クラブだより」のバックナンバーがダウンロードできるようになる予定です。

以下の、「子育てのあれこれ」についても、今までのものを遡ってご覧いただけるようになるので、作業が終了するまで、もうしばらくお待ちください。

子育てのあれこれ No.9

(文責=鷲頭)

今回は、今まで紹介させていただいた子育ての理論や事例の基礎にもなっている心理学の理論を紹介させていただきます。

それは、A. H. マズローの「欲求階層説」という理論で、様々な心理学の理論の基礎にもなっている理論です。その理論の要旨をできるだけ簡単に示すと次のようになります。

「マズローの欲求階層説」の要旨

- 人間の欲求は、より基本的な欲求から人間らしい高いレベルの欲求まで、階層をなしている。
- 基本的欲求は「**欠乏欲求**」と呼ばれ、①**生理的欲求**や、②**安全への欲求**があげられる。
- 「欠乏欲求」がある程度満たされると、「**成長欲求**」と呼ばれる欲求が生じるようになる。
- 「成長欲求」には、③**所属と愛の欲求(社会的欲求)**、④**自尊の欲求(自我欲求)**、⑤**自己実現の欲求**がある。
- 人間は、基本的には、より低レベルの欲求が満たされると、次の欲求へ向かうことができる。

その順は、①生理的欲求→②安全への欲求→③所属と愛の欲求(社会的欲求)→④自尊の欲求(自我欲求)→⑤自己実現の欲求の順である。

以上のような、理論からすると、**学校での授業や児童クラブや家庭での学習は、④自尊の欲求(自我欲求)や⑤自己実現の欲求のレベルであり、より高いレベルでの欲求ということになります。**

つまり、子どもが本気で宿題等の学業に向かうようになるためには、**それよりも低いレベルの欲求が満たされなくてはならない**ということになります。

例えば、「早寝早起き朝ごはん」が大事であると言われてますが、「毎日朝食を食べる」ことは、レベル1の「生理的欲求」になります。同じくらいの時刻に起きたり寝たりすることは、「睡眠時間の確保」や「生活の安定」から考えると、同様にレベル1の欲求です。

また、学力向上には、情緒の安定が必要条件であると言われてますが、そのための家族とのふれあいや友達との良好な人間関係やコミュニケーションなどに関係することは、レベル2の「安全への欲求」やレベル3の「所属と愛の欲求(社会的欲求)」になります。

このように考えてみると、子どもたちが安心して学習に向かうためには、衣食住に関して心配することなく毎日の生活ができることが、まずは大前提になります。

そのうえで、身体的にも精神的にも危険のない環境で、安定した気持ちで生活できることが必要になります。その気持ちの安定には、当然のことながら、良好な人間関係が必要であり、集団の中でもしっかりと居場所があることが重要になります。

以上のことから、**学力向上を考えたときに、私たち大人がまずしなければならないことは、「もっと勉強しなさい」ということよりも、子どもが勉強に向かえるように、人的・物的な環境を整えてあげることが先かも知れません。**

*参考文献 「子どもの発達とつまずき」(高野清純)、「子どもの能力の見つけ方・伸ばし方」、『心の基地』はおかあさん(平井信義)、「文化と感情の心理生態学」(荘厳舜哉) 他

